

# Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 351

2021年8月2日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

◆九条の会事務所お休みのご案内 8月9日(月)～15日(日)

◆次号 Eメールニュース「みやぎの九条」NO. 352は9月1日(水)送信となります。

## 宮城県内九条の会連絡会講演会

### 「菅政権を終わらせ、新たな段階に入った改憲策動に終止符を！」

9条改憲に重大な影響を及ぼす衆議院選挙を目前に控えた、節目の時期、改憲情勢についてお聞きします。

ZOOMでも参加できます。

<https://us02web.zoom.us/j/82917646438?pwd=T2tSOWNLeXE5dHpmemdHRF1jQUQ1Zz09>

ミーティング ID82917646438

パスワード 858524

日時：8月28日(土) 13:30～16:00

会場：フォレスト仙台2階、第5、6会議室。

講師：渡辺治さん（一橋大学 名誉教授  
憲法学、九条の会事務局）

\*どなたでもご参加ください。新型コロナウイルス感染防止のためマスクを着用にてご来場ください。

主催：宮城県内九条の会連絡会

日本国憲法公布75年 施行74年  
宮城県内九条の会連絡会 講演会

講師：渡辺治さん  
「菅政権を終わらせ、新たな段階に入った改憲策動に終止符を！」

8/28(土) 13:30～16:00  
フォレスト仙台2F 第5.6会議室

Zoomでもご参加いただけます  
<https://us02web.zoom.us/j/82917646438?pwd=T2tSOWNLeXE5dHpmemdHRF1jQUQ1Zz09>  
ミーティング ID 829 1764 6438  
パスワード 858524  
一橋大学 名誉教授(憲法学)  
九条の会 事務局

コロナ禍が明らかにしたのは、政治の難関と、それによってつくられてしまった私たちの社会の脆弱さでした。  
その上、国際世論さえ無視して、オリンピック開催に固執する菅政権は、国民の命とくらしをどう考えているのでしょうか。  
先の通常国会では肝心の「最低投票率」や「コマーシャル規制」への手立てもないまま、「改正国民投票法」が可決・成立されています。  
菅政権のような強権的手法で9条改憲、戦争国家への道に突き進むことを許すわけにはいきません。  
私たちの運動も新たなステージを迎えました。  
九条の会発足以来、積み上げてきた経歴を礎として、さらにどう展望を拓いていくのか、知恵と力を出し合ひましょう。  
秋までには総選挙が行われます。  
なんとしても国会の力関係を変えなければなりません。  
コロナ禍だけではなく、気候危機など、人類全体が大きな危機に直面しているからこそ、日本国憲法の精神を礎として広く手をつないでいきましょう。

どなたでもご参加下さい。マスクをつけてご来場を  
講演会終了後、連絡会総会を開催いたします

宮城県内九条の会連絡会 連絡先 みやぎ憲法九条の会  
TEL022-728-8812 FAX022-276-5160 eメール info@9jou.jp

ストップ！ 9条改憲  
公正と信義の政治を、私たちの手で！



\* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。

## 8月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：中止します
- 石巻市：8月19日（木）15:00～16:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：8月19日（木）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点

（19日が土日に当たる場合は第3月曜日）

- 小牛田：8月19日（木）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：8月19日（木）11:00～11:30 場所：クボ店前
- 名取市：8月19日（木）13:00～ 場所：名取駅西口前

## 宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は第2・第4火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：8月24日、9月は14日、28日。 なお、8月10日はお休みします。

## 8月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- 名取市：旧ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町：涌谷公民館前交差点
- 宮城野区：坂下交差点
- 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

## 【これからの県内催事情報】

### 名取市「原爆写真展」

名取市以外の方も大歓迎。日本政府が核兵器禁止条約に参加するように声をあげましょう。

日時：8月6日（金）11：00～8月8日（日）昼まで

会場：みやぎ生協名取西店（1F～2F 通路階段）

主催：名取市原水爆禁止協議会

### 戦争を語りつぐ上映会（8月）

#### 「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」～原爆投下までの過程～

アメリカの原爆の開発計画の現場責任者の手記と、原爆を投下した爆撃機のパイロットや、当時の日本の指導者へのインタビュー。そこからはアメリカが自らの「正義」のために、投下を決定した過程や、日本が降伏を決断できないまま投下の日を迎えてしまった経緯が浮かび上がる。過去の取材資料を加え原爆投下の全体像に迫る。（2020年、60分）

■同時上映 「原爆の絵は語る～ヒロシマ被爆直後の3日間～」（2017年、45分）

日時：8月4日（木）13：00～15：00 （参加費：無料）

会場：泉病院友の会・第2会議室（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会 378-3883 定員10名（要事前申込）

### 治安維持法犠牲者国賠同盟宮城県本部第31回総会記念講演

**危険極まりない、憲法違反の「土地利用規制法」を斬る！！**

1925年に日本が制定した「治安維持法」により、共産主義者を始め宗教者・植民地国民に至る「反体制者」を逮捕・投獄・拷問・虐殺し、ついにはメディアを国営放送化し、学問・研究・思想の自由も抹殺した。「共謀罪法」の制定に続き、「デジタル庁の設置」、今回の国会で強行した「土地利用規制法」は戦前の道を復活させるもの、絶対に許されない。

日時：8月7日（土）13：30～（参加費：無料）

会場：フォレスト仙台2F 第10会議室(旧 教育会館)

講師：杉山茂雄さん(弁護士、国賠同盟宮城県本部副会長)

主催：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟宮城県本部(仙台市青葉区五橋1-5-13 県労連会館3F 国民救援会気付 022-222-6458)

\*「記念講演」終了後、総会を開催します。「傍聴参加」、「講演だけ参加」の方も歓迎します。

\*コロナ感染対策のために「マスク」等ご持参ください。席への着席は係員の指示に従ってください。

## 飛田晋秀写真展

### 「福島記憶～3.11で止まった町～」

私は報道カメラマンではない。30年以上も職人を撮ってきた写真家だ。3.11大震災と原発事故が起きた。私は迷った。撮るべきか、撮らざるべきか。私の背中を押したのは被災者だった。「絶対に風化させてはならない」。私は深い胸の内か底から、「迷い」が吹き飛んでいくのを感じた。被災地の入れるところまで入って撮影をするべきなのだ。

日時：8月7日（土）～9日（月・祝）

7日（土）13時～17時、8日（日）9時～17時、9日（月）9時～15時、

会場：東京エレクトロンホール宮城 501 展示室

入場：無料

ギャラリートーク：飛田晋秀「福島記憶を語る」8月9日（月・祝）14：00～

会場：東京エレクトロンホール宮城 601 大会議室

主催：飛田晋秀写真展実行委員会

問い合わせ先：090-8922-5418（立石）

E-Mail:tateishi-bijutsu@softbank.ne.jp

## 吉野作造記念館 2021 年度前期企画展

### 「吉野作蔵と後藤新平」

吉野作造と後藤新平—ともに旧仙台藩に生まれた二人の交流は、後藤から吉野への留学支援に始まり、生涯にわたって多方面の事業で接点を持ちました。本企画展では吉野が後藤に宛てた書簡4通をはじめとした奥州市立後藤新平記念館所蔵の貴重な資料を紹介しつつ、国際交流、衛生、社会教育、関東大震災からの復興などの事業への両者それぞれの「立場からの取り組みを追います。

日時：7月18日（日）～9月26日（日）午前9時～午後5時 毎週月曜日 休館

展示解説会：講座「資料でみる吉野作造と後藤新平」

講師：小嶋 翔（吉野作造記念館主任研究員）

日時：8月3日（火）14:00～

企画展の観覧料でお聞きになれます。要予約。電話または記念館 HP から。

会場：吉野作造記念館企画展示室

入館料：一般 500 円、高校生 300 円、小・中学生 200 円

主催：吉野作造記念館 大崎市古川副沼 1-2-3

問い合わせ先：0229-23-7100

## 不再戦平和 2021

### 映画「純愛」、記録映像「1946 王希奇」、パネル展示

終戦直後に中国本土に残った日本人女性の愛と中国での絆を描いた物語「純愛」（2007年制作）は世界各国で評価され、最初の公開から14年経ちますが上映され続けています。国や民族を越えた「人間としての愛」を表現しています。歴史を知らなくても、この時代を懸命に生きた人々の姿に胸を打たれるでしょう。

日時：8月13日（金）10:00～17:00

記録映像：「1946 王希奇」 ①10:00～ ②12:15～ ③14:30～ \*3回上映

映画：「純愛」110分 ①10:15～ ②12:30～ ③14:45～ \*3回上映

パネル展示

会場：仙台多文化共生センター（仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター会議棟1F）

入場料：1000円（予約制）

\*当日チケットを購入できますが、コロナ感染防止により入場制限がある場合、事前購入された方が優先されます。

主催：宮城不戦平和実行委員会

連絡先：日本中国友好協会 宮城県支部連合会（仙台市青葉区米ヶ袋1丁目2-6 米ヶ袋ビル402） TEL：022-217-7220 FAX：022-217-7221

### 宮城革新懇結成40周年「第3回憲法問題連続講座」

#### —学術会議と軍事研究—

菅首相が就任後最初に行った仕事は「日本学術会議会員6名の任命拒否」、推薦された105名のうち6名を理由を明らかにしないまま任命しなかったのです。今もって任命を拒否した具体的理由を明らかにしていませんが、それどころか任命を拒否された6名が求めた「自己情報開示請求」に対しても内閣府や内閣官房は「情報不存在」とか「請求を拒否する」という極めて不遜な対応を取り続けています。

日時：8月15日（日）10:00より

会場：エルパーク仙台セミナーホール（青葉区一番町1-4-1ビル5階）

講師：片山知史さん（東北大学大学院農学研究科教授、宮城憲法会議代表委員、東北大学教職員組合執行委員長）

資料代：500円

主催：平和・民主・革新の日本をめざす宮城の会（宮城革新懇）

連絡先：仙台中央法律事務所 022-227-2291 革新懇事務室長 高橋正利 080-6010-3022

「大震災復興の10年を考える」

国が定めた当初復興期間が経過したいま、大震災復興の10年をどのように評価するのか。「日本の科学者」7月号特集「東日本大震災から10年目の課題」の執筆陣が、被災者、被災地の視点で大震災復興の10年を検証します。

どなたでも参加できます（無料）。

2021年8月23日～9月27日、毎週月曜日18:00～20:00、全6回、オンライン開催

第1回：8月23日

演題：「複合災害と人間の復興」 講師：綱島不二雄さん(元山形大学教授)

演題：「道半ばの『暮らしの再生』と被災者支援の課題」 講師：嶋原敦子さん(東北大学大学院学術研究員)

第2回：8月30日 演題：「東日本大震災後の被災地における漁業生産と漁村」 講師：片山知史さん(東北大学大学院教授)

第3回：9月6日 演題：「『創造的復興』は惨事に便乗した過剰復興」 講師：小川静治さん(みやぎ県民センター事務局長)

第4回：9月13日 演題：「『創造的復興』は惨事に便乗した過剰復興」 講師：阿部重憲さん(都市プランナー) 「『創造的復興』は惨事に便乗した過剰復興」

第5回：9月20日 演題「東日本大震災復興がもたらしたもの」 講師：遠州尋美さん(元大阪経済大学教授)

第6回：9月27日「総合討論『日本の科学者』7月号を読んで」 講師：長谷川公一さん(尚絅学院大学教授)、増田 聡さん(東北大学大学院教授)

みやぎ震災研ホームページ「お問い合わせ」からお申し込みください。

<https://miyagishinsailabo.com/contact/> ※ お名前、メールアドレスは必ずご記入ください。 件名 (Topic) には、「連続講座参加希望」とご記入ください。メッセージ欄には、「連続講座「大震災復興の10年を考える」への参加を希望します。」とご記入の上、御所属や関心分野等についてご記入いただければ幸いです。

2019年11月、「桜を見る会」の国会追及が始まりました。安倍退陣のきっかけともいえるこのできごとは政権のゆがみとおごりがもたらしたものです。ゆがみの実態とおごりの結果を検証し、憲法に根差した政治を取り戻すために、あつくお話ししていただきます。

日時：9月5日（日）13:30～15:30 会場：仙台市市民活動サポートセンター6F セミナーホール（地下鉄南北線広瀬通駅下車西5番出口から出てすぐ） 講師：小野寺義象さん（一番町法律事務所事務所、日本弁護士連合会憲法問題対策本部委員、「桜を見る会」を追求する法律家の会事務局長、片平9条の会代表委員） 参加費：300円 主催：宮城女性九条の会 仙台市青葉区上杉2-1-10YWCA会館内 連絡先：090-5832-6836 FAX：022-241-0429 「桜を見る会 前夜祭」～刑事告発と新しい政治に向けて～